

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会会長 殿

独立行政法人日本スポーツ振興センター
理 事 長 芦 立 訓

令和6年度スポーツ振興くじ助成金交付額確定通知書

令和6年度スポーツ振興くじ助成金の額を、独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金交付要綱（平成15年度要綱第18号）第13条の規定により、下記のとおり確定したので通知します。

記

確定額 金 35,265,000 円

(内訳)

事業細目名 事業名	確定額
タレント発掘・一貫指導育成 次世代選手発掘及び育成（フラッグ・タックルフットボール）	27,320,000 円
スポーツ情報の提供（スポーツ） 情報提供ホームページ作成	6,749,000 円
スポーツ指導者の養成・活用（スポーツ） アメリカンフットボールアカデミー	365,000 円
ドーピング防止啓発活動推進 ドーピング防止啓発	101,000 円
ドーピング検査 ドーピング検査	10,000 円
スポーツ団体ガバナンス強化 ガバナンス強化	720,000 円
合計	35,265,000 円

【本件連絡先】

独立行政法人日本スポーツ振興センター
スポーツ振興事業部支援企画課
企画・総括係 担当：渡部・今堀
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-1
Tel：03-5410-9180
E-mail：kuji-josei@jpnsport.go.jp

別記様式第8（第4条関係）

JAF第20250410-1号

令和 7年 4月10日

独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長 殿

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
申請者名 会 長 寺田 昌弘 _____

令和6年度スポーツ振興くじ助成金に係る助成事業実績報告書

標記助成金について、事業が終了しましたので、独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金交付要綱（平成15年度要綱第18号）第12条第1項の規定により、関係資料を添えて報告します。

- (注) 1 この報告書の提出に当たっては、交付決定したすべての事業が終了した後に提出するものとする。
- 2 添付書類は、当センターホームページに掲載のとおりとする。

令和6年度タレント発掘・一貫指導育成事業

実施報告書

【スポーツ振興くじ助成事業】

標記に関し、タレント発掘・一貫指導育成事業（「JOCアスリートプログラム」又は「競技者育成プログラム」等に基づいて、優れた素質を有する競技者を発掘し、定期的・継続的に育成するための事業）を実施したので報告します。

1. 事業名
 次世代選手発掘及び育成（フラッグ・タックルフットボール）

2. 事業内容

(1) 事業の実施場所(大会参加にあたっては国・都市名を記載)
 富士通スタジアム川崎（関東）、パナソニックグラウンド（関西）、東京ガス深川グラウンド（関東）

(2) 期間・日程
 2024年1月8日～2024年1月26日
 (6) 日間

月日(曜)	場 所	内 容
2/2（日）	早稲田大学	男子 U15/17 次期 JIC 選別練習（関西）
2/9（日）	パナソニック G	男子・女子シニア日本代表選別練習（関西男女合同）
2/11（火）	岩倉高等学 G	男子・女子シニア日本代表選別練習（関東男女合同）
2/12（水）	富士通スタジアム川崎	男子・女子シニア日本代表選別練習（関東男女合同）
2/15（土）	NTC	男子・女子シニア日本代表選別練習（関東男女合同）
2/16（日）	富士フィルム G	男子シニア日本代表選別練習（関東）
2/16（日）	岩倉高等学 G	男子 U15/17 次期 JIC 選別練習（関東）
2/19（水）	パナソニック G	男子・女子シニア日本代表選別練習（関西男女合同）
2/23（日）	パナソニック G	男子 U15/17 次期 JIC 選別練習（関西男）
2/26（水）	富士通スタジアム川崎	男子・女子シニア日本代表選別練習（関東男女合同）
3/1（土）	NTC	男子・女子シニア日本代表選別練習（関東男女合同）
3/2（日）	富士フィルム G	男子・女子シニア日本代表選別練習（関東男女合同）
3/2（日）	パナソニック G	男子 U15/17 次期 JIC 選別練習（関西男）
3/5（水）	追手門高校 G	男子・女子シニア日本代表選別練習（関西男女合同）
3/8（土）	法政大学 G	女子 U15/17 次期 JIC 選別練習（関東）
3/15（土）	東京ガス深川 G	男子シニア日本代表選別練習（関東）
3/15（土）	岩倉高等学 G	女子シニア日本代表選別練習（関東）

3/15（土）	岩倉高等学 G	女子 U15/17 次期 JIC 選別練習（関東）
3/19（水）	追手門高校 G	男子・女子シニア日本代表選別練習（関西男女合同）
3/20（木）	パナソニック G	男子・女子シニア日本代表選別練習（関西男女合同）
3/20（木）	パナソニック G	女子 U15/17 次期 JIC 選別練習（関西）
3/21（金）	秋津サッカー場	女子シニア日本代表選別練習（関東）
3/26（水）	富士通スタジアム川崎	男子・女子シニア日本代表選別練習（関東男女合同）
3/29（土）	富士通スタジアム川崎	男子 U15/17 次期 JIC 選別練習（関東）

（３） 目 的

フラッグフットボール日本代表（シニア）は、2024 年 8 月のフィンランド世界大会では、女子が 3 位に輝き、また男子は 11 位と前回同等の成績であった。世界でも類を見ない高度な戦略を身に着けるなど一定の成果は獲得しているが、海外選手との体格・フィジカル差は否めないものがある。フィンランド世界大会のレビューを経て、ロサンゼルスオリンピックに向けて新体制を構築し、現在はオリンピック出場権に關与する 2025 年のアジアオセアニア大陸選手権および強化練習試合の意味合いを持つ TWG 大会（女子競技）において優勝を目指すため、日本の戦略をインストールしながらも海外選手に引けを取らない体格の選手を発掘することを目的に「シニア日本代表選別練習」を継続開催し、発掘した選手を日本代表として派遣する計画としている。また、U15/17 は次期ロサンゼルスにおいて 6 月に遠征強化試合が予定されており 1 月から選手選別練習を始めている

（４） 成 果

上記の目的に向け、アンダー世代の育成に注力することはもとより、タックルフットボールや他競技からも「シニア日本代表選別練習」参加を募ることで、多くのフィジカル能力の高い優秀な選手が集まってくれている。現在、その中から代表選手を選考している。

（５） 課 題

2028 ロス五輪に向け海外も強化スピードを上げている。日本も次世代の選手選考を進めているが、その選手たちが、9 月のアジアオセアニア大陸選手権までにフィジカル、スキル、戦略を身に着けるためには相当の密度での強化合宿が必要である。

また、強化はもとより、フラッグフットボールの日本における競技人口の拡充、ファンの拡充を進め、メジャー・ブランド化（それが「強化」にもつながる）を図る必要がある。

令和6年度 収支計算書

タレント発掘・ 一貫指導育成事業No	No62～159
団 体 名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助 成 区 分	将来性を有する競技者の発掘及び育成活動助成
助成対象事業細目	タレント発掘・一貫指導育成
事 業 名	次世代選手発掘及び育成（フラッグ・タックルフットボール）

(収入) (単位：円)

科 目	合計
くじ助成金収入	27,320,000
協賛金収入	0
入場料収入	0
参加料収入	12,196,000
補助金・委託金等収入	0
その他の収入	25,500
自己負担金	792
合 計	39,542,292

(支出) (単位：円)

科 目	合計	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
		対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A)-(B)	
諸 謝 金	4,020,300	3,993,400	3,993,400	0	22,256
旅 費	6,758,404	6,226,525	6,184,765	41,760	531,879
渡 航 費	18,944,972	18,864,972	18,864,972	0	80,000
滞 在 費	2,734,363	2,734,363	2,734,363	0	0
借 料 及 び 損 料	806,683	663,758	663,758	0	142,925
消 耗 品 費	2,014,003	0	0	0	2,014,003
ス ポ ー ツ 用 具 費	2,882,374	2,753,399	2,753,399	0	128,975
備 品 費	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	307,061	305,461	305,461	0	1,600
委 託 費	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0
会 議 費	2,244	0	0	0	2,244
雑 役 務 費	580,404	323,714	323,714	0	256,690
補 助 金 ・ 交 付 金	0	0	0	0	0
保 険 料	484,950	484,950	484,950	0	0
そ の 他	6,534	0	0	0	6,534
合 計	39,542,292	36,350,542	36,308,782	41,760	3,187,106

ホーム	安全対策	公式規則	指導者講習会	寄 附	殿堂・歴史	行事予定	フラッグフットボール	アンチドーピング
-----	------	------	--------	-----	-------	------	------------	----------

ホーム > フラッグフットボール > 国際大会 > 【参加者募集】フラッグフットボール JAPAN 代表選考会および強化活動（2025年1月-3月開催分）

【参加者募集】フラッグフットボール JAPAN 代表選考会および強化活動（2025年1月-3月開催分）

Like 0

ポスト

Share 0

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会（JAJFA）は、日本代表最終候補選出を目的としたフラッグフットボール JAPAN（FFJ）代表選考会を2025年1月から3月にかけて実施いたします。
4月以降は、本年夏以降に開催予定のアジア・オセアニア大陸選手権（時期・開催地等は後日発表）に出場するメンバーを選考することと大会に向けた準備を目的とした活動となります。

選考会について

本選考会は全12回開催されますが、選手の都合に合わせてエントリーが可能です。
選考は各回で行われ、優れたパフォーマンスを発揮した選手を継続招集の対象とします。3月までの選考会は限られていますので機会を逃さずエントリーしてください。一定の基準に達しなかった選手については、選考対象外となることがあります。
そのため、必ずしも最初の回から参加する必要はありませんが、複数回の参加で実績を積み上げることも評価の対象となります。

強化活動について

選考会とは別に、関西・関東の2拠点において、**月2回平日夜に強化活動**を実施します。
日本代表の活動に向けて意欲ある選手を広く募集し、よりオープンに参加を促す機会とします。
選考会への参加経験者、これからエントリーを希望する選手などの参加を想定しています。
平日夜の強化活動も選考会同様に事前にエントリーを募ります。

参加希望者の皆様へ

日本代表選考会および強化活動の詳細は以下をご確認いただき、エントリーフォームよりお申し込みください。
いずれの日程も男女共同開催となります。なお、会場やスケジュールについては一部調整中のため、変更がある場合がございます。

詳細は下記を参照してください。

記

■日本代表選考会（開催日 / 時間帯 / 開催エリア / 実施会場 または 地域）※すべて2025年

◇東西合同2Days開催日

- 1月12日（**日**） / 午前-午後 / **関西** / 大阪府守口市
- 1月13日（月・**祝**） / 午前-午後 / **関西** / 大阪府守口市
- 2月15日（**土**） / 午後 / **関東** / 会場未定
- 2月16日（**日**） / 午前-午後 / **関東** / 会場未定
- 3月1日（**土**） / 午後 / **関東** / 会場未定
- 3月2日（**日**） / 午前-午後 / **関東** / 会場未定

◇関東エリア

- 1月25日（**土**） / 午後 / **関東** / 会場未定
- 2月11日（火・**祝**） / 時間未定 / **関東** / 会場未定
- 3月15日（**土**） / 午後 / **関東** / 会場未定

フラッグフットボール	一覧▶
ルール関連・同意書	
国内大会	
国際大会	
巡回教室	



◇関西エリア

- 1月26日（日） / 午前-午後 / 関西 / 大阪府守口市
- 2月9日（日） / 午後 / 関西 / 大阪府守口市
- 3月20日（木・祝） / 午前-午後 / 関西 / 大阪府守口市

■FFJ 強化活動（平日夜開催）（開催日 / 時間帯 / 開催エリア / 実施会場 または 地域）※すべて2025年

- 1月8日（水） / 午後7時-10時 / 関東 / 富士通スタジアム川崎
- 1月8日（水） / 午後7時-10時 / 関西 / 大阪府守口市
- 1月22日（水） / 午後7時-10時 / 関東 / 富士通スタジアム川崎
- 1月22日（水） / 午後7時-10時 / 関西 / 大阪府守口市
- 2月12日（水） / 午後7時-10時 / 関東 / 富士通スタジアム川崎
- 2月12日（水） / 午後7時-10時 / 関西 / 大阪府守口市
- 2月19日（水） / 午後7時-10時 / 関西 / 大阪府守口市
- 2月26日（水） / 午後7時-10時 / 関東 / 富士通スタジアム川崎
- 3月12日（水） / 午後7時-10時 / 関東 / 富士通スタジアム川崎
- 3月26日（水） / 午後7時-10時 / 関東 / 富士通スタジアム川崎

※3月2回分の関西エリアでの強化活動は日程と会場を調整中です

※いずれの日程も男女共同開催となります

日本代表選考会：募集カテゴリー

- 選手（男子）※2025年12月31日までに18歳以上になる方
- 選手（女子）※2028年12月31日までに18歳以上になる方
- スタッフ（コーチ / マネジャー / その他サポート）

参加条件（選手）

JAJFAフックフットボール会員登録済み、または手続き中の方

高い身体能力・技術のいずれかを有し、日本代表候補となりうる方（競技経験は不問）

メディカルアンケートに回答済みの方（エントリーフォームより回答可能）

参加条件（スタッフ）

JAJFAフックフットボール会員登録済み、または手続き中の方

フットボールの指導経験やスタッフ活動経験をお持ちの方（初エントリー時に経歴要記入）

選考会および強化活動をサポートしていただける方

定員

- 選手：20～30名程度
- スタッフ：各種若干名（コーチ / マネジャー / その他）

※応募者多数の場合は開催エリア近郊在住の方を優先する場合があります

申し込み期間

- 1月開催分：1月5日（日） 23時59分まで
- 2月開催分：1月19日（日） 23時59分まで
- 3月開催分：2月16日（日） 23時59分まで

申し込みフォーム

- 日本代表選考会への申し込みは[こちら](#)
- FFJ 強化活動1月開催分の申し込みは[こちら](#)
- FFJ 強化活動2月開催分の申し込みは[こちら](#)
- FFJ 強化活動3月開催分（現在準備中です）

ホーム	安全対策	公式規則	指導者講習会	寄 附	殿堂・歴史	行事予定	フラッグフットボール	アンチドーピング
-----	------	------	--------	-----	-------	------	------------	----------

ホーム > フラッグフットボール > 国際大会 > フラッグフットボール男子17U/15U日本選抜候補選出のための選考会について

フラッグフットボール男子17U/15U日本選抜候補選出のための選考会について

Like 1

ポスト

Share 1

2025年1月5日

関係各位

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
五輪技術委員会委員長 薮田 学

フラッグフットボール男子17U/15U日本選抜候補選出のための選考会について (2025年度の男子アンダー選抜チームはこの選考会のみで遠征選手を概ね選抜します) (2025年度の女子アンダー選抜チームの選考会は3月を予定しています)

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会（JAJFA）は、今年6月に米国ロサンゼルスで開催される予定のフラッグフットボールのJunior International Cup（JIC）に育成年代（17U=17歳以下、15U=15歳以下）の男子日本選抜チームを派遣するべく、1月26日（日）と2月2日（日）に選考会を開催します。

2028年ロサンゼルス五輪の追加競技に選ばれたフラッグフットボールにおいて、JAJFAでは将来日本代表となりうる育成年代の選手に対して技術向上や国内トップ選手間の交流の機会を設け、競技の普及に努めていく所存です。

この選考会は海外遠征を見据え、フラッグフットボールJAPANのコーチングスタッフが中心となって運営します。基礎技術の確認に始まり、攻守のシステムのインストール等、段階的にチーム作りを行っていきます。チーム編成以降は東日本、西日本両エリアで練習会を毎月1回ずつ実施します。中学3年生で高校受験を控えている選手は、3月以降に実施する予定の特別選考会への参加をご検討くださるようお願いします。

2025年6月の遠征参加を希望する選手は、活動趣旨を確認し、ご家庭でよく相談された上で、以下のQRコードか、こちらの[エントリーフォーム](#)からアクセスし、期限までにご応募ください。



※本練習会は選手選考を兼ねるため、短期間で活動終了となる可能性があること、また応募者多数などの事情によりご応募いただいても参加できない場合があることを予めご了承ください

▼ JIC遠征概要

期 間：2025年6月18日（水）～23日（月）

場 所：アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルス

会 場：Dignity Health Sports Park

費 用：自己負担 約30～40万円予定（渡航費用、諸経費）

▼ 活動参加要件

- 17U（17歳以下）：2008年1月1日～10年4月1日生まれの方
- 15U（15歳以下）：2010年1月1日～12年4月1日生まれの方
- ※2010年1月1日～4月1日生まれの方はどちらの категория にエントリーするかご判断下さい
- 所属チームの監督ならびに保護者の方から同意が得られていること

フラッグフットボール 一覧▶

ルール関連・同意書

国内大会

国際大会

巡回教室



- 自他ともに認める高い競技力と身体能力を有した選手であり、かつフラッグフットボールを通じて強い向上心と交流への意欲を有する選手であること
- 日本選抜の活動を優先して練習や遠征に参加できること

▼ 選考会開催予定 ※時間/場所等の詳細は後日あらためてご案内します

基礎的な身体能力測定・技術測定、試合形式の練習を通じて選考を行います。

<西日本>

日 時：1月26日（日）男子17U/15U 12時集合

会 場：大阪府守口市

<東日本>

日 時：2月2日（日）男子17U/15U 11時集合

会 場：東京都西東京市

▼ 募集期限

西日本：1月19日（日）午後8時

東日本：1月26日（日）午後8時

▼ 本件に関するお問い合わせ先

担当：内藤忠男 メール：info.ff.jpn@americanfootball.jp

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 801

Tel：03-5843-0482 Fax：03-5843-0483 電話対応 月～金 10:00～17:00)

E-Mail：jafahq@americanfootball.jp

📄 個人情報保護方針について | 関連団体 | JAF Aについて | English

Copyright 2014 JAPAN AMERICAN FOOTBALL ASSOCIATION. All right reserved.



2025年1月6日

フラッグフットボールJAPAN

圧倒的な成果をあげる組織とは？

「M₁V₂V₃+C」の重要性和日々の行動への落とし込み

筑波大学体育スポーツ局
助教 稲垣 和希

自己紹介



稲垣 和希 (いながき かずき)

PhD (健康スポーツ科学)

筑波大学体育スポーツ局助教

略歴

静岡県出身

筑波大学 (～2013)

筑波大学大学院 (～2019)

クイーンズランド大学 客員研究員 (～2020)

筑波大学体育スポーツ局研究員 (～2023)

専門性

スポーツ心理学、コーチング、ウェルビーイング、チームビルディング等の研究・実践

主な指導実績

- ・ 筑波大学蹴球部メンタルアドバイザー
- ・ 法政大学アメリカンフットボール部
- ・ IBM BIG BLUE
- ・ 東京五輪2020 出場選手
- ・ 体操系種目の世界大会出場選手
- ・ 陸上系種目アジア大会出場選手 等

チームの組織力向上に対する支援及び
個人に対するメンタルタフネスの強化支援



圧倒的な成果を上げるチームとは？

目先の「勝ち負け（結果志向）」ではなく

長期的なビジョン（目的志向）のもと、

共通の理念を持ったメンバーが

一貫性のあるアクションを取り続けることができる組織



結果志向 VS 目的志向

結果志向（勝利 / 順位）

VS

目的志向（意義 / 社会善）

動機づけ

- ・ 勝てそうな時は頑張るが、勝てない or 勝ちが決まると手を抜く

競技力

- ・ 絶対に「失敗できない」という過度な緊張の原因に

仲間

- ・ 結果に影響を与えられる人だけが所属感を感じることができる

充実感

- ・ 結果目標を達成しても、結局「幸せ」になれない

- ・ 目的達成に終わりはないので、努力し続けることができる
- ・ 試合結果の先に「目的」を見据えることで適切な緊張感と集中力を維持できる
- ・ 目的の達成には多くの貢献の仕方があり様々な支援者を巻き込むことができる
- ・ 目的を達成した充実感は長く続く人生における「ウェルビーイング」の向上



令和6年度 収支計算書

団 体 名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助 成 事 業 細 目 名	スポーツ指導者の養成・活用（スポーツ）
事 業 名	アメリカンフットボールアカデミー

(収入)

(単位：円)

科 目	既定予算額	増△減額	決算額
く じ 助 成 金 収 入	680,000	△ 315,000	365,000
協 賛 金 収 入	0	0	0
入 場 料 収 入	0	0	0
参 加 料 収 入	300,000	△ 95,000	205,000
補助金・委託金等収入	0	0	0
そ の 他 収 入	0	0	0
自 己 負 担 金	536,000	290,409	826,409
合 計	1,516,000	△ 119,591	1,396,409

(単位：円)

概算払	
概 算 払 受 入 日	
概算払受入済額	0
精 算 払 額	365,000

(支出)

(単位：円)

科 目	既定予算額	増△減額	決算額	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
				対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A)-(B)	
諸 謝 金	256,000	△ 221,000	35,000	35,000	35,000	0	0
旅 費	732,000	△ 301,125	430,875	339,529	327,189	12,340	91,346
渡 航 費	0	0	0	0	0	0	0
滞 在 費	0	0	0	0	0	0	0
借 料 及 び 損 料	0	0	0	0	0	0	0
消 耗 品 費	100,000	△ 100,000	0	0	0	0	0
ス ポ ー ツ 用 具 費	0	0	0	0	0	0	0
備 品 費	0	0	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	98,000	△ 98,000	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	90,000	△ 90,000	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	240,000	690,534	930,534	94,424	94,424	0	836,110
補 助 金 ・ 交 付 金	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1,516,000	△ 119,591	1,396,409	468,953	456,613	12,340	927,456

スポーツくじ



各都道府県、市町村、NPO等が主催するスポーツイベントに、
抽選で当選し、観戦できるチャンス。

A grayscale world map is centered in the background, showing the outlines of continents and major landmasses. The map is rendered in a light gray tone against a dark background.

高校生指導者向けクリニック

2024年7月31日

A dark gray world map is visible in the background of the slide, centered on the Atlantic Ocean.

本日の内容

1. ご挨拶
2. 今回のクリニックの目的・狙い
3. 日本代表 チーム全体について
4. 日本代表 オフenseについて
5. 日本代表 ディフェンスについて
6. (日本代表 キッキングについて)
7. 質疑応答

アメリカンフットボール・パフォーマンスコーチによる、高校生アスリート向けクリニック

1. 主 旨：

アメリカンフットボール競技においては、多種多様なポジションが存在し、各ポジションに適した運動能力を有するアスリートがその運動能力を最大限に発揮するようにトレーニングを行う必要がある。また、各ポジションにおいては、求められる体格や身体能力が異なり、様々なタイプの選手が存在するため、そのトレーニングの目的、手法等も様々ある。そのような経験を通じて、得られるノウハウは他のスポーツにてにおいても有用なことが多いと考え、他種目の選手を対象に、投げる、打つ、シュートする等にも通じる、「走る、止まる、曲がる」の能力を高めるために必要なトレーニングアプローチを伝えることを目的として開催する。

2. 日 時：2025年2月22日（土）

対象チーム：北陸学院高校バスケットボール部（2024 インターハイ出場）

会 場：北陸学院高校体育館

参加人数：合計 46 名（選手：25 名・講師：3 名・関係者：18 名）

クリニック内容：競技特性に向けたスキル向上トレーニング方法

測定内容：3 種目計測（20 ヤードダッシュ・垂直跳び・立ち幅跳び）

日 時：2025年2月23日（日）

対象チーム：小松大谷高校野球部（2024 甲子園出場）

会 場：小松市立南部地区体育館

対象人数：合計 65 名（選手：47 名・講師：3 名・関係者：15 名）

クリニック内容：競技特性に向けたスキル向上トレーニング方法

測定内容：3 種目計測（20 ヤードダッシュ・垂直跳び・立ち幅跳び）

3. 講 師（敬称略）

トレーニング指導：朝倉 全紀（一般社団法人 School of Movement 代表理事）

高田 美弦（一般社団法人 School of Movement）

コンバイン測定：田中 僚（株式会社 F&V スポーツコンバイン事業責任者）

4. 関係者（敬称略）

濱屋 史篤（北陸学院高校バスケットボール部 HC）

渡邊 耕己（北陸学院高校バスケットボール部アシスタントコーチ）

西野 貴裕（小松大谷高校硬式野球部監督）

木村 慎之介（小松大谷高校硬式野球部トレーナー）

宮浦 淳一（北陸学連・北陸学院中等部教諭）

森下 知晃（北陸学生アメリカンフットボール連盟理事長）

根来 武一郎（北陸学生アメリカンフットボール連盟理事）

深堀 理一郎（公益社団法人日本アメリカンフットボール協会 強化育成委員）他

5. 北陸学院高校 スケジュール ※敬称略

時間	内容	担当者	備考
09:00~09:15	クリニック開催趣旨説明	深堀 理一郎	Jafa 強化育成委員会
09:15~12:00	トレーニング指導	朝倉 全紀	一般社団法人
		高田 美弦	School of Movement
12:00~13:00	昼食		
13:00~13:30	ウォームアップ		
13:30~15:00	フィジカル測定会	田中 僚	(株)F&V スポーツコンバイン事業責任者
15:30~16:00	アメフト体験（キャッチボール）	宮浦 淳一	北陸学生アメリカンフットボール連盟
16:00~	閉会	宮浦 淳一	北陸学生アメリカンフットボール連盟

6. 小松大谷高校 スケジュール ※敬称略（降雪天候悪化のため午前中のみ開催）

時間	内容	担当者	備考
08:30~09:00	クリニック開催趣旨説明	深堀 理一郎	Jafa 強化育成委員会
09:00~10:00	ウォームアップ	朝倉 全紀・高田 美弦	
10:00~12:00	トレーニング指導	朝倉 全紀	一般社団法人
	フィジカル測定会	高田 美弦	School of Movement
	※施設を2分割し開催	田中 僚	(株)F&V スポーツコンバイン事業責任者
12:00~12:30	アメフト体験（キャッチボール）	宮浦 淳一	北陸学生アメリカンフットボール連盟
12:30~	閉会	森下 知晃	北陸学生アメリカンフットボール連盟理事長



北陸学院高校バスケットボール部



小松大谷高校硬式野球部

◇一般社団法人 School of Movement

所有資格 CSCS (Certified Strength and Conditioning Specialist)

アメリカに本部を置く国際的な教育団体である NSCA (National Strength and Conditioning Association 全米ストレングス&コンディショニング協会) が認定する世界共通資格の民間資格

◇株式会社 F&V スポーツコンバイン事業責任者

Jリーグを始めとし、日本全国において、多くのスポーツ団体のフィジカル測定の実績を有している。フィジカル測定データによる選手の課題解決の手助けを行なっている。

令和6年度 収支計算書

団 体 名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助 成 事 業 細 目 名	スポーツ情報の提供（スポーツ）
事 業 名	情報提供ホームページ作成

(収入)

(単位：円)

科 目	既定予算額	増△減額	決算額
く じ 助 成 金 収 入	7,040,000	△ 291,000	6,749,000
協 賛 金 収 入	0	0	0
入 場 料 収 入	0	0	0
参 加 料 収 入	0	0	0
補助金・委託金等収入	0	0	0
そ の 他 収 入	0	0	0
自 己 負 担 金	3,962,000	△ 2,274,017	1,687,983
合 計	11,002,000	△ 2,565,017	8,436,983

(単位：円)

概算払	
概算払受入日	
概算払受入済額	0
精 算 払 額	6,749,000

(支出)

(単位：円)

科 目	既定予算額	増△減額	決算額	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
				対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A)-(B)	
諸 謝 金	0	0	0	0	0	0	0
旅 費	0	0	0	0	0	0	0
渡 航 費	0	0	0	0	0	0	0
滞 在 費	0	0	0	0	0	0	0
借 料 及 び 損 料	0	0	0	0	0	0	0
消 耗 品 費	0	0	0	0	0	0	0
ス ポ ー ツ 用 具 費	0	0	0	0	0	0	0
備 品 費	0	0	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	0	0	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	11,002,000	△ 2,565,017	8,436,983	8,436,323	8,436,323	0	660
補 助 金 ・ 交 付 金	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0
合 計	11,002,000	△ 2,565,017	8,436,983	8,436,323	8,436,323	0	660

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会は、当協会公式サイト

(<https://americanfootball.jp/>) のリニューアル業務を担当する事業者を募集いたします。概要は以下の通りです。

1. 対 象

当協会メインサイト・サブドメインサイトコンテンツ

2. 予 算

費用概算：850 万円（税込）

3. 事業会社選定、入札方法

企画コンセプトの提案（プロポーザル方式）による特名随意契約

4. 選定ポイント

オリエンテーション時にお伝えします

5. スケジュール

公募期間：6 月 10 日（月）～21 日（金）

応募者オリエンテーション：6 月 10 日（月）～21 日（金）

ご提案期間：6 月 24 日（月）～27 日（木）

決定通知：6 月 28 日（金）

サイトプレオープン：8 月下旬

サイト正式オープン：9 月以降（応相談）

6. 申し込み方法

jafahq@americanfootball.jp 宛に以下①～⑤を記載してメールでご連絡ください。

- ① 御社名
- ② ご担当者名
- ③ ご連絡先メールアドレス
- ④ お電話番号（会社・ご担当者携帯とも）
- ⑤ 御社公式サイト URL

日本アメリカンフットボール協会・公式サイトリニューアル オリエンテーションシート

【目 的】

アメリカンフットボールとフラッグフットボールの普及、発展に向けた広報活動の充実化

【対 象】

(本サイト) <https://americanfootball.jp/>

と 以下などのサブドメインサイト (の整理)

<https://japan.americanfootball.jp/>

<https://academy.americanfootball.jp/>

<https://americanfootball.jp/team-persons/>

【課題点】

・現状の公式サイトは時代にそぐわない IT スペックであり、かつ広報・PR 体制を含め再構築の必要性がある。ポイントは以下の通り

- ① インターフェース (UX 観点、ブラウザ対応、スマートフォン対応など)
- ② CMS カスタマイズ
- ③ セキュリティ
- ④ 属人的運用 (担当者 1 名、担当者スキルの問題など)
- ⑤ 情報の鮮度とクオリティ
- ⑥ 各サブドメインサイトの整理 (継ぎはぎでの開発の残骸多し)

【予算とスケジュール】

- ・費用概算 : 850 万円 (税込)
- ・スケジュール : 2024 年 6 月～ (8 月末プレオープン)

【追加与件】

- ・協会サイドに 1 名ディレクター登用 (25 万円/人・月を想定 概算費用より差し引き)

【ご提案いただきたい事項】

- ・新サイトの企画コンセプト
- ・デザインの方向性 (ラフレベルまでのもので OK)
- ・プロジェクトのスケジュール
- ・サイトオープン後の運用、サポート (効果測定含む) について

以上

【JAFA HPリニューアル】フォーマット仕様整理

▼現状分析		
現状の課題	現状の公式サイトは時代にそぐわないITスペックであり、かつ広報・PR体制を含め再構築の必要性がある	
リニューアルの目的	アメリカンフットボールとフラッグフットボールの普及、発展に向けた広報活動の充実化へと繋げる。	
	サイトの課題	トレンドに沿わないデザインによるユーザービリティ低下と情報の煩雑化によるブランディング低下
主なターゲット (ペルソナ設定)	エリア	全国（日本国内向け）
	年齢層	☒ 男性 ☒ 女性 ☒ 10代 ☒ 20代 ☒ 30代 ☒ 40代 ☒ 50代 ☒ 60代 ☒ 70代以上
	抱える課題	ページごとの関連性・連動性の不足、デザインの統一性がなくブランディングの不足
	ニーズ	競技者（既存層）、関係者（既存層）、ファン層（新規層）の幅広いターゲット層

▼ホームページ制作について		
リニューアル後の目標 (KGI・KPI)	最終目標 (KGI)	ニーズのあるコンテンツへの導線強化およびサイト訪問者増加
	プロセス目標 (KPI)	ブランディングの強化、情報アクセスの容易化、コンテンツの魅力向上、管理・運用効率の向上
リニューアルするページ数	490	ページ（記事ページ流し込み含む）
問合せフォーム	☐ 今あるフォームを使用 ☒ 新規で制作	
予算	8,500,000円（税込）	
公開日	2025年3月31日	
素材の準備	ライティング	☒ 依頼する ☐ 依頼しない（自社で用意）
	撮影	☐ 依頼する ☒ 依頼しない

▼その他の事項		
公開後の更新	☒ 更新・運用を依頼する ☐ 自社で対応する	
更新を自社で対応する場合	更新範囲	☒ お知らせ ☐ 事例 ☒ コラム ☐ 製品情報
	その他	
レスポンス対応	☒ する ☐ しない	
サーバーについて	☐ 現状のままでOK ☒ 新規契約したい	
	サーバー会社名	さくらインターネット
ドメインについて	☒ 現状のままでOK ☐ 新規契約したい	
CMSについて	WordPress6.7	
SSLの導入について	☐ 導入している ☒ 導入したい ☐ 不要	
その他の要望		

主要ページデザイン一覧



令和6年度 収支計算書

団 体 名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助 成 事 業 細 目 名	ドーピング検査
事 業 名	ドーピング検査

(収入)

(単位：円)

科 目	既定予算額	増△減額	決算額
く じ 助 成 金 収 入	11,000	△ 1,000	10,000
協 賛 金 収 入	0	0	0
入 場 料 収 入	0	0	0
参 加 料 収 入	0	0	0
補助金・委託金等収入	0	0	0
そ の 他 収 入	0	0	0
自 己 負 担 金	2,000	△ 856	1,144
合 計	13,000	△ 1,856	11,144

(単位：円)

概算払	
概算払受入日	
概算払受入済額	0
精 算 払 額	10,000

(支出)

(単位：円)

科 目	既定予算額	増△減額	決算額	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
				対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A)-(B)	
諸 謝 金	10,000	0	10,000	10,000	10,000	0	0
旅 費	2,000	△ 1,340	660	660	660	0	0
渡 航 費	0	0	0	0	0	0	0
滞 在 費	0	0	0	0	0	0	0
借 料 及 び 損 料	0	0	0	0	0	0	0
消 耗 品 費	0	0	0	0	0	0	0
ス ポ ー ツ 用 具 費	0	0	0	0	0	0	0
備 品 費	0	0	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	0	0	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	1,000	△ 516	484	484	484	0	0
補 助 金 ・ 交 付 金	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0
合 計	13,000	△ 1,856	11,144	11,144	11,144	0	0

令和6年度 収支計算書

団 体 名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助 成 事 業 細 目 名	ドーピング防止啓発活動推進
事 業 名	ドーピング防止啓発

(収入)

(単位：円)

科 目	既定予算額	増△減額	決算額
く じ 助 成 金 収 入	101,000	0	101,000
協 賛 金 収 入	0	0	0
入 場 料 収 入	0	0	0
参 加 料 収 入	0	0	0
補助金・委託金等収入	0	0	0
そ の 他 収 入	0	0	0
自 己 負 担 金	33,000	△ 6,940	26,060
合 計	134,000	△ 6,940	127,060

(単位：円)

概算払	
概 算 払 受 入 日	
概算払受入済額	0
精 算 払 額	101,000

(支出)

(単位：円)

科 目	既定予算額	増△減額	決算額	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
				対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A)-(B)	
諸 謝 金	90,000	4,000	94,000	94,000	94,000	0	0
旅 費	24,000	5,012	29,012	28,300	26,200	2,100	712
渡 航 費	0	0	0	0	0	0	0
滞 在 費	0	0	0	0	0	0	0
借 料 及 び 損 料	0	0	0	0	0	0	0
消 耗 品 費	15,000	△ 15,000	0	0	0	0	0
ス ポ ー ツ 用 具 費	0	0	0	0	0	0	0
備 品 費	0	0	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	0	0	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	5,000	△ 952	4,048	3,564	3,564	0	484
補 助 金 ・ 交 付 金	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0
合 計	134,000	△ 6,940	127,060	125,864	123,764	2,100	1,196

日本アメリカンフットボール協会 アンチドーピング講習会2024

日本アメリカンフットボール協会
アンチドーピング委員会
東京衛生アドベンチスト病院 整形外科
齋藤 良彦

スポーツクジ



開示すべきCOIはありません

ドーピングとは

- 競技能力を高めるために薬物などを使用すること
- ルールで禁止されている

ドーピングは何故いけないのか

- 健康を害する
- フェアプレー、スポーツ精神に反する
- 社会に悪影響を及ぼす（反社会的行為）



- スポーツの価値を損ねる

アンチ・ドーピングの規則

- リストに示される禁止物質・方法を使用することがドーピング

＊ 医師からの処方薬、市販薬、サプリメントなどに禁止物質が含まれていることがある

⇒意図的でなくても、ドーピング検査で禁止物質が検出されると違反となる

⇒治療上、禁止物質がどうしても必要な場合には事前に「治療使用特例（TUE）」の申請をし、許可を得る必要がある

アンチドーピングの歴史

- 1960年 ローマオリンピック、興奮薬で自転車選手が死亡
- 1964年 東京でドーピングに関する会議
- 1968年 IOCがオリンピックでドーピング検査開始
- 1985年 国内でドーピング検査開始
- 1988年 ユネスコの体育・スポーツ担当大臣会議
- 1999年 世界アンチ・ドーピング機構（WADA）設立、
日本加盟
- 2001年 日本アンチ・ドーピング機構（JADA）設立
- 2003年 世界アンチ・ドーピング規定制定、世界共通ルール
- 2005年 ユネスコでドーピング防止国際規約採択、2007年発効

最近のドーピング問題

- 2014年 ロシア陸上のドーピングもみ消し暴露
ロシアの国ぐるみのドーピングと隠蔽
⇒2018平昌、2020東京、2022北京オリンピックでは
ロシア国としての参加不可
- IOCは過去のオリンピックの検体（10年保管）を再検査
⇒大量の陽性、メダル剥奪
- 国際ウェイトリフティング連盟の不正
⇒オリンピックから除外の可能性

2017年 IOCが**独立した検査機関（ITA）**を設置
WADAが各国検査体制の**直接監査**を開始

令和6年度 収支計算書

団 体 名	公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
助 成 事 業 細 目 名	スポーツ団体ガバナンス強化
事 業 名	ガバナンス強化

(収入)

(単位：円)

科 目	既定予算額	増△減額	決算額
く じ 助 成 金 収 入	720,000	0	720,000
協 賛 金 収 入	0	0	0
入 場 料 収 入	0	0	0
参 加 料 収 入	0	0	0
補助金・委託金等収入	0	0	0
そ の 他 収 入	0	0	0
自 己 負 担 金	893,000	△ 170,749	722,251
合 計	1,613,000	△ 170,749	1,442,251

(単位：円)

概算払	
概 算 払 受 入 日	
概算払受入済額	0
精 算 払 額	720,000

(支出)

(単位：円)

科 目	既定予算額	増△減額	決算額	助 成 対 象 経 費			助成対象外 経費
				対象経費 (A)	うち限度額 (B)	限度額との差 (A)-(B)	
諸 謝 金	0	0	0	0	0	0	0
旅 費	110,000	137,178	247,178	212,412	212,412	0	34,766
渡 航 費	0	0	0	0	0	0	0
滞 在 費	0	0	0	0	0	0	0
借 料 及 び 損 料	60,000	△ 31,015	28,985	19,635	19,635	0	9,350
消 耗 品 費	0	0	0	0	0	0	0
ス ポ ー ツ 用 具 費	0	0	0	0	0	0	0
備 品 費	0	0	0	0	0	0	0
印 刷 製 本 費	0	0	0	0	0	0	0
通 信 運 搬 費	0	0	0	0	0	0	0
委 託 費	0	0	0	0	0	0	0
賃 金	0	0	0	0	0	0	0
会 議 費	0	0	0	0	0	0	0
雑 役 務 費	1,443,000	△ 276,912	1,166,088	833,624	833,624	0	332,464
補 助 金 ・ 交 付 金	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1,613,000	△ 170,749	1,442,251	1,065,671	1,065,671	0	376,580

日本アメリカンフットボール協会 コンプライアンス講習

(スポーツ団体ガバナンスコードと最近の不祥事事例)

2025年1月

弁護士 大塚幸太郎

公益社団法人（一般社団法人も含む） のガバナンスについて

- ① 社員総会、理事、監事等の会社法の機関と同等・類似の機関を設置
- ② 理事・監事等の役員に善管注意義務・忠実義務等の義務を課す
- ③ 計算書類・事業報告書等の作成、監事等による監査、社員総会の承認の義務付け

公益社団法人と一般社団法人の規制の相違（ガバナンスの観点から）

- ・ 公益社団法人には事業計画書等の書面を行政上に提出する義務などの行政の広範な監督を受ける
- ・ 公益社団法人は不当に高額なものとならないような報酬支給基準の定めを要する
- ・ 公益社団法人は社員の議決権について、拠出した金銭の額に従って異なる取り扱いをすることは許されない（社員一人一議決権の徹底）

公益社団法人の理事は何をするのか

- ・ 業務の執行（代表理事、業務執行理事）
- ・ 業務執行の決定（理事会を通じて）
- ・ 理事の職務の執行の監督
- ・ 代表理事の選定及び解職

理事に課せられた義務

- ・ 善管注意義務（一社法 6 4 条）
- ・ 忠実義務（一社法 8 3 条）
- ・ 競業・利益相反取引の制限

スポーツ団体ガバナンスコードの役割

- ・ N F がガバナンスを確保し、適切な組織運営を行うことによって、スポーツの価値の最大化に資する
- ・ プリンシプルベース・アプローチ（原則主義）
 - N F の役職員や関係者が、その趣旨や意義を理解し、互いに共有した上で、自律的に組織のガバナンス体制を構築していくことができるようにするため
- ・ 「コンプライ・オア・エクスプレイン」の手法
 - コードの各原則を「実施する」か、「実施しない場合には、その理由を説明する」ことによって、原則を遵守する